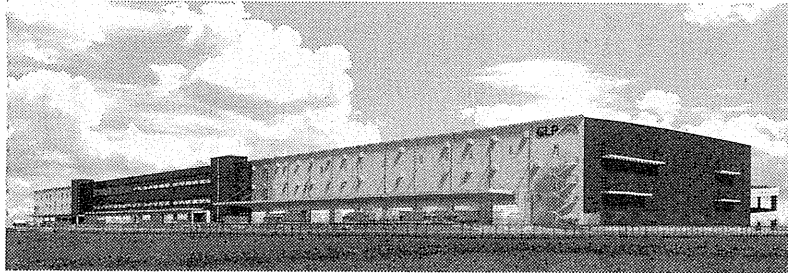


# JFEシビルで起工 GLP 茨城・五霞町に14万m<sup>2</sup>物流施設



GLP五霞の完成イメージ

グローバル・ロジスティック・プロパティーズ（GLP、東京都港区、帖佐義之社長）は、茨城県五霞町で計画している延べ約14万平方メートルの大型物流施設「GLP五霞」の建設に着手した。

設計・施工はJFEシビルが担当。18年10月の完成を目指す。同社の茨城県内初の開発プロジェクトとなる。

7日に現地で起工式が行



鍬を入れる帖佐社長

われ、帖佐社長が鍬、JFEシビルの藤井善英社長が鋤をそれぞれ入れ、工事の安全を祈願した。

建設地は幸主力新田1の敷地面積は8万5108平方メートル。建物の規模はS造3階建て延べ13万9880平方メートルとなる。首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の五霞インターチェンジ（IC）や新4号国道沿いに位置している。周辺エリアには、食品や飲料、自動



鋤を入れる藤井社長

車関連などの拠点施設があるため、幅広い物流ニーズを見込む。

帖佐社長は「茨城県内の賃貸面積では最大規模の施設で、今後の開発の第一歩となる。圏央道沿いでの開発は常に検討しており、今後も事業性の高いものを選り、発展に寄与していきたいと考えている」と話した。

村松徹所長（JFEシビル）の話



「小学校の近くに位置しているため、特に児童の安全には配慮し、無事故・無災害で竣工させたい」。